

申
10
号

現場第一の姿勢で組合員・社員の努力に報い
モチベーションと生活の維持・向上の実現を求める

年末手当に関する緊急再申し入れ交渉を行なう！

東労組が交渉で訴えたこと！！

・第3回交渉以降、J R 東 労 組 に 寄 せ ら れ た 組 合 員 ・ 社 員 の 声

8 7 2 8 件

- 会社として多くは納得しているという受け止めだということを踏まえると、労働組合としての議論の場が重要だと認識した。
- 経営を考えるならば、現場第一の姿勢を取るべきだ！
- モチベーションが下がって、仕事のやる気もなくなったという声が届いている。
- 経営側と現場の認識の違いや溝が危機的状況だと認識せざるを得ない。
- 過去最高の働き度となっている。
- 組合員・社員の努力に報いていない、労っていない！
- コロナ禍を乗り越え、好調な業績をつくり、見通しも明るい状況である。3.7ヶ月を求めてきた。改めて再考を求める！！

会社回答

受け止めるが、

再考せず

〈会社の主張〉

- 納得しているという声が相当数ある
- 現場第一の姿勢というのは変わらない
- 寄せられた声はしっかりと受け止めることに変わりはない。今回の回答にも反映している。
- この間、社員の皆さまには様々な施策にチャレンジいただいていることには感謝申し上げます。様々な要素を勘案して、検討を重ねた結果、踏み込んだ回答であり、最終回答である。

納得しているという声は
誰の声なのか！？

本部は代表者会議の議論を経て苦渋の決断として妥結の判断をした。
経営姿勢をつくりかえるためにも未加入者へのJR東労組への結集を呼びかけよう!!

